

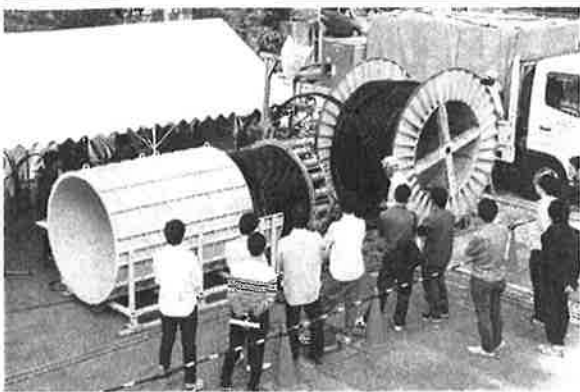
# 日本下水道新聞

## 名古屋で自立管製管デモ

SPR協  
東海支部  
JIS、耐震指針紹介

日本SPR工法協会東海支部(相澤宏暢支部長)は、名古屋市上下水道局北部管理センター船附出張所で「管きよ更生工法セミナー」を開催。同局職員らが多数参加した。自立管設計に対応する新

PE工法は、高密度ポリエチレン樹脂とスチール補強材を組み合わせた更生材(プロファイル)を用いる大口径製管工法。更生材嵌合部を熱融着することで、強固な水密性を表現している。SPR-SE工法は塩化ビニル樹脂とスチール補強材を組み合わせた更生材をスパイラル状に嵌合製管する中小口径製管工法。双方とも更生管単独で自立管強度を持ち、既設管の残存強度不足等で複合管設計が適用できない現場に対応する。



元押し式製管を実演(SPR-PE工法)

デモ実演では、PE、SE各工法の製管工程を披露。模擬管内でスムーズに

更生管が構築されていく様子に参加者は関心を集めた様子。

そのほか座学では、業界動向として「下水道用プラスチック製管きよ更生工法(JIS A 7511)や「下水道施設の耐震対策指針と解説2014年版」が紹介されたほか、元会計検査院の田中雅博氏を講師に迎え、管きよ更生工法に関する会計検査上のチェックポイントについて、Q&A形式で解説が行われた。